

# お元気ですか

三菱樹脂OB会だより第六号

## 第十二回OB会総会報告

平成十四年五月二十四日(金)

長浜工場 東食堂一階

総会 出席者一〇二名

司会進行 竹井常任幹事

(一) 高橋会長挨拶

本日は大先輩の方々をはじめとして多数の方のご出席を賜りありがとうございます。

本会も発足以来十二年になり、会員数も五百名を越す盛況になりましたことは誠に同慶の至りでございます。

しかしながら、この一年の間に村松顧問をはじめ十二名の方がお亡くなりになられたことは、痛惜のかぎりでありまして心からご冥福をお祈り申し上げます。

OB会の活動の基本として、会員の皆様方の親睦の増進と心身の活性化へのお役立ちに努めて参っております。この方針に沿って、一昨年来

①リクリエーション分科会活動の充実

②OB会だより、ホームページによる広報活動の充実

③FAX一斉通信システムを中核とする情報ネットワークの構築に力を入れて参りましたが、この三項目とも幹事の方々のご努力と会員の皆様のご協力によって、成

果ができましたことを喜ぶとともに厚く感謝申し上げる次第でございます。

今後とも一層の充実に努めていきたいと思っております。

OB会の財政状況は、超低金利の継続で基金の運用利子が望めなため、このあとご報告いたしますとおり一般会計は赤字続きとなりましたので、いづれ皆様とご相談しなければならぬと案じております。



亡くなられた村松さんには、本OB会設立に際し大変ご尽力頂きました。当時社長に在任中でして、設立のバックアップをされ、基金二十万円のご寄付をはじめとする会社からの支援体制を固めて頂きました。

OB会総会には殆ど欠かさずご出席頂き、本年も総会にご出席を楽しみにされていらっしゃいました。残念ながら適わぬことになり

ましたので、遺影でのご参加の形を取らせて頂きました。

懇親会の席にも飾らせて頂きますので、村松さんを偲ぶお話など交わして頂ければと思っております。

本総会にあたり、三菱樹脂社並びに関係会社各位からご祝儀を頂戴したことをご報告し、各社に御礼申し上げます。

(二) 会務報告 竹井常任幹事

物故会員報告、長寿祝贈呈報告、会員状況報告、新入会員報告、平成十三年年度決算報告、平成十三年年度定期総会収支決算報告、OB会基金決算および予算報告、平成十四年度予算説明。

(三) 小原会計監事欠席のため、事前に監査承認を得ているむね竹井常任幹事から報告。

(四) 役員改選の件報告 竹井真一氏、山本雄三氏が退任。加藤進氏、岩田幸三氏が常任幹事就任。

(五) 決算および予算ならびに役員改選議案について出席者全員異議無くご承認を得ました。

(六) 森邦彦工場長から工場概況、経営概況説明。

昨年度はエコロージュ生産開始技術開発センター設立、ショールーム改装、KTF耐熱ラップ事業譲り受け、浅井工場内に耐熱ラップ工場竣工。本年は環境報告書完

成、ACT21工場革新、エコロージュ事業を推進する。

平成十五年三学期予想(十四年三学期実績)売上一六〇億円(一二〇億円) 経常利益三五〇〇百万円(二九八百万円)

懇親会 (東食堂一階)

出席者一〇五名

進行 森川幹事

高橋会長の挨拶の後、大和田名誉会長のご発声で乾杯し、懇談に移りました。

お互いの近況や活動についての話題を交わし、先輩・同僚・後輩の消息を尋ね、長浜市内の変貌に驚き、ダイヤサービス社心尽くしの料理と日本酒「汲月」に心地よく酔いました。

中締は岡秀明氏のご発声で「三菱樹脂社およびOB会万歳」を三唱し、十八時お開きとなりました。

工場見学

参加者六五名

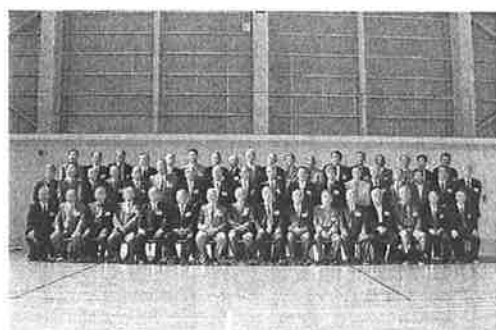
総会に先立ってバス三台に分乗して浅井工場を見学しました。

浅井工場はすでに敷地一杯に建屋が建ち並び、ダイアミロン、ダイアラップスーパ、耐熱ラップ、ボトル、プレートが生産されていて会社の進展を実感しました。

浅井工場往復のバスの窓から雲ひとつ懸かっている伊吹山が間近に望め、からっとした天気で、長浜市街を爽快な気分でドライブしました。

総会懇親会出席者

大和田昇名誉会長、高橋義衛会長、青山敏雄、安彦隆、秋山憲弘、荒木秀浩、石塚守男、伊豆亥児、市村義雄、井上豪、岩尾正道、



岩根信次、岩田幸三、岩田由春、大西義夫、大村元孝、大庭忠利、岡秀明、岡山尚志、奥田公員、押切繁、小野博三、尾本光弘、加藤進、加藤敏雄、金沢淳三、川野秀正、川崎誠吉、神部勇作、木澤英雄、岸川茂、北川久男  
(次頁最下段に続く)

## 故村松顧問お別れの会

四月二十五日東京會館九階ロ  
ーブルームで、故村松壽久元社  
長のお別れの会が開催されまし  
た。会では、ご遺族、菅澤武彦  
社長、ならびに約四五〇名のこ  
参会のかたがたによる献花の後、  
懐かしい写真やテレビ出演され  
た際の映像が流れ故人が偲ばれ  
る会場で、お別れをしていただ  
きました。



## 濱辺顧問に叙勲

濱辺正剛顧問は今年春の叙勲  
で勲三等瑞宝章を受章されまし  
た。



## 濱辺顧問のお話

「このたびは、はからずも勲  
三等瑞宝章を賜われることとなり  
大変感謝いたしております。化  
学業界をはじめ、多くの先輩、  
関係者の皆様の長年にわたるご  
指導の賜物と心より感謝申し上  
げる次第です。この榮譽は、私  
個人のみならず、公私にわたり  
私をご支援いただいた皆様なら  
びに会社、役員、従業員のご尽  
力によるものであり、これらの  
方々に対していただいたものと  
の感を深めております。」

## 高田宏員氏に叙勲

長浜の高田宏員さんが昨春秋  
の叙勲で勲五等雙光旭日章を受  
章されました。このたびの叙勲  
は高田さんが昭和五十年から二  
十年間、長浜市会議員を務めら  
れ、その後も地方自治のいろい  
ろな領域で社会に貢献されたこ  
とが評価されたものです。

## 祝 高田宏員さんの叙勲を祝う



## 第二回OB会 作品展

神奈川県民ホール・ギャラリー  
平成十四年二月十九日―二十  
四日 出品者二十五名、入場者  
数四二〇名



今回は二十五名の作品が展示  
され、四二〇人の来場者があり  
ました。来場者から「会社の  
OB会で作品展をこれほど立派  
にやっている例は少ないしまた  
作品のレベルも高い」などの励  
ましを頂きました。第三回は来  
年二月二十五日から三月二日まで  
開催の予定です。  
OB会ホームページには出品者  
全員の全作品を紹介しています。  
(加藤進記)

## 歩こう会

関東地区第二八回歩こう会  
小江戸川越を歩く  
平成十四年五月十四日(火)  
参加者二十一名

十二時川越駅に集合し、シルバ  
ーガイドクラブの箕輪さん(七  
十歳の先導、小島福寿会員のし  
んがりで出発。小島さんは現在  
当地歴史研究会で活躍中である。  
八幡神社、光西寺、中院、仙波  
東照宮、どろぼう橋を経て徒歩  
四十分、汗をかきながら国宝川  
越大師の「喜多院」へ到着。家  
光誕生の間、春日局の間がその  
まま残っている。



この後、川越城本丸御殿へ。  
午後三時の「時の鐘」に間に合  
うように鐘つき通りに急ぐ。  
「残したい日本の音風景百選」  
で川越のシンボルに選ばれてい  
る「時の鐘」の音を聴く。  
蔵造りの町並みは火事の類焼  
を防ぐための耐火建築で、江戸  
の町屋形式として発達したもの  
で、小江戸と言われる由縁でも  
ある。土産物屋で名物の芋菓子  
を買い、懇親会場に向かう。  
(石橋正康記)

## 近畿分会

### 第二回樹楽会ハイキング

平成十四年三月二七日(水)  
参加者 町田富美夫、奥田公  
具、内藤次生、平井穰、福井久  
押切繁、山口陸雄、山口滋  
降水確率四十%以上でハイキ  
ングは中止としたが、飲み会は  
予定通りで、八名全員定刻に京  
都駅集合。

本来ならば山陰本線亀岡駅よ  
り「明智越」を踏破して嵯峨水

総会出席者名(前頁から続く)  
北川浩生、北川良雄、木下勝康、  
草野康雄、熊倉寛、黒川亮、桑  
村伸正、合原精一、小林剛、小  
林一好、佐伯清忠、坂上聰、坂  
本堅一、佐古田英男、笹原榮之  
助、澤田耕輔、澁谷和明、柴田  
清廣、柴田弥蔵、清水博、杉山  
英雄、相馬義一、高橋恭明、高  
山栄司、竹井真一、田中一英、  
立石堯、玉木正良、堤賢三、外  
海金太郎、富岡秀雄、中山勉、  
中村利之、中島次郎、西堀和弥、  
野田和久、野呂忠章、橋本泰典、  
馬場智章、東田昭一郎、平井穰、  
広瀬毅、広瀬洋造、福井久、福  
原清、福原良一、藤居勇治郎、  
藤居和一郎、藤田稔、古川國男、  
増原雄甫、松宮正之、松尾義光、  
町田富美夫、峰松晃、宮澤勉、  
宮本二四彦、武蔵秀夫、武藤実、  
武藤幹男、村上孝司、村田謙四  
郎、森隆男、森川栄寿、八木富  
央、八木茂治、山口滋、山田守  
士、山本功、山本貞生、吉井靖、  
世森幹治、渡部二蔵(敬称略)

尾に至るところを、一つ手前の保津峡から水尾に直行した。ここは「柚子の里」とも言われる柚子の名産地である。柚子畑から柚子の良い香が漂ってくる鄙びた山里である。

町田先輩お馴染みの「つじの家」に着くなり、先ず柚子湯風呂を浴び、その後「かしわ」(鶏肉)の鍋で飲み会となった。

(山口滋記)



### ゴルフ同好会

#### 第十七回関東地区コンペ

平成十四年四月十八日(木)

泉カントリー倶楽部 千葉県印旛郡印旛村

千葉県での開催は初めてであり、参加者十六名のうち八名が初参加でした。

新緑が美しく、所所に池も配置された素晴らしいコースですが、しかしグリーンは難しく、シヨ

ートホールの距離が長く、スコアのまとめ難いコースでの白熱した展開でした。



優勝 関守二さん(BG四三・四五)

準優勝 山崎勲さん

第三位 君塚康さん

ニヤピン賞 安田久雄さん、関守二さん、山崎勲さん、安田久雄さん。

次回は大厚木で、時期は十月となりました。(石橋正康記)

#### 第十八回関西地区コンペ

誰の精進が悪かったのか、十八回目にして初めての雨が降り続く中、二八名の参加を得てコンペを開くことが出来ました。柴田弥蔵会長の挨拶につづき、物故者に黙祷をさされた後、雨の中をスタートしました。

雨でスコアが乱れる方の多い中、参加者最高齢の竹田善祐さ

んが日頃奥様ご同伴で練習場に通ってこられた成果を発揮されて初優勝を飾られました。

また、西宮から参加の山口滋さんが一九六ヤードの長いショートホールでニヤピンを獲得されるなどの活躍がありました。プレイ終了後、ダイヤサービスの「汲月」に移り、総会と打ち上げ会を開催しました。

優勝 竹田善祐さん

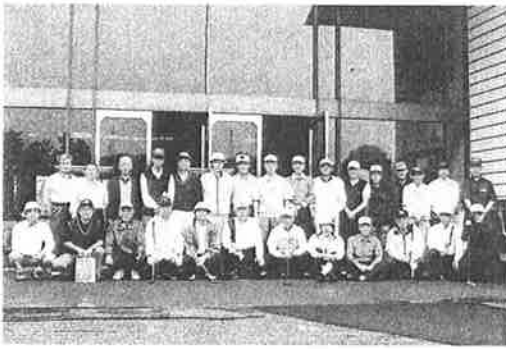
準優勝 神部勇作さん

第三位 雨森作仁さん(BG三八・四二)

ドラコン賞 武藤幹男さん、藤田稔さん。

ニヤピン賞 雨森作仁さん、石丸正明さん、藤田稔さん、山口滋さん。

次回は十月四日(金)を予定しています。(富岡秀雄記)



### テニス同好会

#### 関東地区春季大会

平成十四年四月二六日(金)

三菱化学狛江コート

参加者 高橋義衛、明吉章一、伊藤春生、市村義雄、岡田五郎、小倉武司、金子昇、川上治夫、篠島秀明、竹本恒三郎、土川猛弘、鳥居正義、西林公助、宮下和久、吉井靖、(十五名)



最長老の井東さんが参加されなかったのは残念でしたが、高橋会長をはじめ名プレーヤが集まり熱戦を繰り広げました。プレイ前に「無理をして怪我をしないように」と注意がありましたが、コートに入れば我を忘れて夢中で球を追ひ、どのゲームも白熱した好ゲームでした。打ち上げはビールで乾杯し、さらに懇親を深めました。

(竹本恒三郎記)

### フォトサークル2000

#### 「第四回撮影会」

平成十四年四月五日(金)

場所 多摩森林科学園 東京都八王子市廿里町(とどろ町)

参加者 青山新太郎、久保秀雄、永松啓至、西林公助、橋本志真彦、柳澤知男、廣江昭道

このサクラ保存林は、各地の著名なサクラの遺伝子を保存するために昭和四十一年に設置が決まり、約八ヘクタールの面積に江戸時代から伝わる品種や国の天然記念物に指定されたサクラのクローンなど、一、七〇〇本が植えられています。

咲く時期は種類によっていろいろで、例年二月下旬の寒桜から始まって五月上旬に咲く深山桜まで順次見頃になります。



重い機材を担いで歩き回って撮影に熱中した一日でした。

前回見学の久保秀雄さんが本  
格参加されたこと、永松啓至  
さんの初参加で活発な活動が期  
待できます。ということ、総勢  
七名で乗り込んだ懇親会の盛り  
上がりはご想像にまかせます。  
次回は十一月下旬、鎌倉の紅  
葉撮影です。  
(廣江昭道記)

## 趣味、健康、ライフワーク

### 時事川柳

発想時の閃き、そして最終案  
に至るまでの「推敲」の過程、さ  
らには新聞に載るかも知れない  
という淡い期待感が、ボケ防止  
に有効ではないかと考えて、川  
柳の制作に挑戦するようになり  
ました。

次の句は、辛くも入選して、  
朝日新聞に掲載された四句です。  
『日銀に合併してよと頼み込  
み』  
『衆・参も合併してはと市町村』  
『日銀に預けたいがと頼み込  
み』  
『早く寝ろまだ起きるなと嫁が  
言い』

「米医学誌によれば、今まで最  
適と言われることが多かった睡  
眠時間八時間の人の死亡率は、  
六〜七時間の人より一割ほど高  
かった」との朝日新聞の記事に  
基づく作品。

私の投句は総て e-mail を利用  
しています。鮮度が決め手とな  
る「時事川柳」では有力な武器  
だと思っています。本当に便利  
な世の中になったものですネ！  
新聞に載る度に多くの方々か

ら e-mail、電話、葉書、Fax で「新  
聞で見たヨ！・・・」と連絡を頂  
いており、誠に嬉しい限りです。  
これも投句の効用の一つか？  
と思っています。(関市蔵記)

### 四国八十八と日本一周

朝日新聞に掲載された西沢芳  
朗さんの「還暦を記念し自転車  
で日本一周」については、OB  
会だより第三号でご紹介しまし  
たが、これが単行本となって出  
版されました。

西沢さんは平成九年一ヶ月半  
かけた四国八十八ヶ所千四百キ  
ロの一人旅自転車行脚で自信を  
つけ、翌年の五月から二ヶ月か  
けて日本一周五千五百キロを達  
成されました。



この冒険の旅の記録を自家出  
版することを思い立ち、一年の  
歳月をかけて完成しました。発  
行元は東京の朱鳥社です。  
自家出版までこぎつけるには、

家族のバックアップあつてのも  
の、読んでいて随所に家族の絆  
が感じられるホノボノとする本  
です。  
(森川栄寿記)

### 農家のミニチュア造り

中川実信さんは「藁葺きや、  
茅葺きの農家」が消えていくの  
を惜しんで、ミニチュアで残す  
ことを思いつき、誰に教わるこ  
ともなく、自分の創意・工夫だ  
けで、自宅の一隅の「工房」で、  
制作を続けておられます。

川崎の民家園にある「農家」や  
旅先で見つけた「農家」を写真  
に撮って制作の参考にしたり、  
佐倉の国立民族博物館に出かけ  
て勉強されることもあります。

「農家のミニチュア」は平塚  
のフリーマーケット「四季のパ  
ザール会」と宮ヶ瀬湖の土産物  
店などに置いてありますので、  
近くに行つた際には覗いて下さ  
い。  
(吉井靖記)



## OB会事務局から

### ▽会員の状況

全会員数 五一七名 本部二八四  
名 関西一五五名 近畿二七名  
東海二〇名 九州三二名(平成十  
四年五月二四日現在)

### ▽訃報

柴田梅夫殿 平成十三年十一月十  
六日逝去  
富田敏彦殿 平成十四年二月十四  
日逝去  
中村満男殿 平成十四年三月十一  
日逝去  
村松壽久殿 平成十四年三月十七  
日逝去  
崎山保一殿 平成十四年五月二日  
逝去  
森一男殿 平成十四年五月五日  
逝去  
秋里隆男殿 平成十四年五月十二  
日逝去

慎んでお悔やみ申し上げます。

### ▽傘寿お祝贈呈

梅根研一さん、岡山尚志さん、川  
瀬新三さん、川野秀正さん、北川  
良雄さん、木下巧さん、小林一好  
さん、澤田耕輔さん、杉田為武  
さん、鶴田泰祐さん、平井龍一  
さん、広瀬勉さん、松尾義光さん、  
嘉永政行さん、

### ▽FAX設置のお願い

OB会情報連絡ネットワークが運  
用されていますが、電話連絡では  
言い間違い、聞き間違い、漢字の  
説明、留守電が大変などの問題が  
ありますので、会員の皆様にFAX  
の設置をご検討いただきたいと思います。  
よろしく願います。

発行者：三菱樹脂OB会事務局 〒110-0016 東京都台東区台東4-19-9 山口ビル7-2F  
(株)ダイヤサービス東京支店内 担当 原島尚参 TEL 03-3834-9174 FAX 03-3834-8837

### 編集委員

市村義雄  
加藤進  
黒川亮  
原田浩次  
森川榮寿  
吉井靖

TEL/FAX:0463-55-7235  
TEL/FAX:03-3709-3610  
TEL/FAX:047-447-2881  
TEL/FAX:045-621-3355  
TEL/FAX:0749-63-5307  
TEL/FAX:045-811-9390

e-mail ichiyo-ei@k2.dion.ne.jp  
e-mail ssmkato@oregano.ocn.ne.jp  
e-mail heichuan@m19.alpha-net.ne.jp  
e-mail kh8893@mb.infoweb.ne.jp  
e-mail e-morika@gaea.ocn.ne.jp  
e-mail yoshihiya@skyblue.ocn.ne.jp

OB会ホームページのアドレス

<http://www.mrc.mpi-mrc.co.jp/obkai/>